

# 令和6年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

## 特別支援教室

★教科・観点について  
 生徒の状況などを分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

特別支援教室教育目標	1学期		2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善策	課題分析（授業改善・評価）	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
<b>困難の改善を目指しクラスで力を発揮しようとする。</b>	○困難さを感じている状態であることに気付くことができ、一部の教員に相談することができた。 ○困難の改善を目指すための方法を前向きに相談している。 ▲改善を目指そうとする気持ちが安定しない。	スモールステップで改善できている状態であることを自覚できるよう、言葉かけの適切な内容とタイミングを心掛ける。	○日々の学校生活や学校行事などにおいてクラスの中で自己有用感を高め、積極的に取り組もうとする姿が見られた。 ▲自身を客観的に見つめる力の向上	個別指導計画をもとに生徒一人一人に合った方法で課題改善を図る。	個別指導計画をもとに指導を行い、困難の改善を図ることができた。
<b>自己理解を深め自分を肯定的に受け止める。</b>	○教員からの肯定的な言葉を受け止められるようになってきた。 ○授業の振り返りの際に、できたこと・わかったことに目を向けられるようになった。 ▲自身を客観的に捉えることが苦手で、自己理解が深まらないことがある。 ▲必要な支援をもとめられないことがある。	他者に頼ってもいいことを理解させ、頼ったときに支援してもらえる経験を積めるようにする。	○クラスの係など、責任をもって活動に取り組むこと機会が増え、自信をもって学校生活を送ることができるようになってきた。 ▲困ったときに支援を求める方法についての定着	実際に起きた事例や場面想定をもとに、適切な言動について考えさせ、解決に向かわないときの対処方法について教員と考える。	ソーシャルスキルトレーニングをとおして自己理解を深め、自己肯定感を育むことができた。
<b>望ましい人間関係を築こうとする。</b>	○人と関わる上での自分の課題に気付いてきた。 ○自分にとって嫌なことをされたとき、上手に逃れる方法について考えることができた。 ▲人と関わることへの消極的な気持ちが強い。	人と関わる上で苦手なこと・できそうなことを整理する。	○他者との適切な距離感をつかむことが出来るようになってきている ▲自分の意見を適切に相手に伝える方法の定着	人と関わる上で苦手なこと・できそうなことを整理し、振り返りを行う。	ソーシャルスキルトレーニングをとおして、他者との良好な関係づくりについて理解を深めることができた。
<b>健康な心と身体で過ごそうとする。</b>	○生活リズムの振り返りをしている。 ○生活リズムを整えると健康状態も整うことを理解できた。 ○心の安定に向けた活動の必要性を理解できた。 ▲心の不安定さが大きい。 ▲保護者の理解を得る必要がある。	会話をしながら自分の状態を知っていく。	○規則正しい生活を送ることの大切さについて理解できている。 ▲規則正しい生活リズムの定着	引き続き生活状況の振り返りを行い、自分の状態について確認を行う。	日々の生活の振り返りをおとして、自身の生活状況を見つめ、よりよい生活の過ごし方について考えを深めることができた。
<b>研修課題（キャリア教育に関連した教科としての取</b>	<b>研修課題に対する教科としての具体的な実践方法</b>	<b>1学期の成果と課題</b>	<b>1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容</b>	<b>2学期までの成果と課題</b>	<b>1年間の成果と今後の課題</b>
<b>・生徒の主体性やコミュニケーション能力を育む授業</b>	・日常生活や学校生活の振り返りを行い、言語化する。 ・ゲーム的活動を通して、ルールの理解や話し合い活動について、自ら積極的に活動に取り組みさせる。	○教員との対話を通して、自身の学校生活について振り返りを行うことができた。 ○絵を描くことや体を動かすことなど、得意なことをいかし、コミュニケーション活動に取り組むことができた。 ▲苦手なことにも積極的に取り組もうとする態度を育む必要がある。	スモールステップで生徒個人の課題に応じた指導を行う。	個別指導計画をもとに生徒に合った指導を進めることができた。今後も在籍学級と連携を図りながら指導を進める。	個別指導計画をもとに生徒個人に適した指導を行うことができた。今後も家庭や在籍級担任と連携を図りながら指導を行う。